

農地・水・環境保全向上対策

伊勢管内活動発表会 開催



油谷所長 挨拶

去る8月5日(金)に伊勢市御園町のハートプラザみえにおいて、伊勢志摩地区(伊勢市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町)で農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織や三重県、管内市町、水土里ネットみえの関係者など120名余りが参加して「平成23年度農地・水・環境保全向上対策伊勢管内活動発表会」が開催された。

この「活動発表会」は、活動組織の日頃の地域における農地保全活動や環境活動の事例発表を通じて、各活動組織の質的向上を図り、地域振興に一層活発に取り組むことを目的に平成21年度より開催され、本年度で3回目となる。

まず、主催者である三重県伊勢農林水産商工環境事務所の油谷敬朗所長の挨拶があり、引き続き5活動組織の代表(発表)者により取組み状況等が紹介された。

①東宮農地保全グループ(南伊勢町)

基盤整備後、排水路に土砂が堆積していたが、この事業により重機等を使用し、土砂堆積を撤去でき、長年の悩みを解決できた。

また高齢化で農業者離れが進むなか、この事業により農業を前向きにとらえられるようになり、田んぼの生き物観察会、休耕田を利用したひまわり畑の迷路、収穫体験等の保育園児とのふれあい活動を実施している。

②牧水会(度会町)

40年以上も放置されていた牧戸池の堤体補修をすべて区民の出会いにより行った。環境保全活動として、コスモスの植栽による景観形成活動、岩風呂川の生き物調査を実施しており、いろいろな生き物の生息が確認でき、清流域に生息するボウズドジョウも見つかっている。

③茶屋みどりの会(玉城町)

農事組合法人を中心に自治会、老人会、婦人会、子供会が活動に参画している。

共同活動として水路の草刈り、水路の泥上げ、清掃活動、ホテルの観察会を実施し、営農活動として地域住民と交流のための地産地消交流会での昼食会と先生による食育講演

会や中学生の体験学習の受け入れ等を実施している。

④ふるさと東大淀の自然環境を守る会(伊勢市)

排水路の泥上げ、農家総出の出会い等、農家の減少により出会いの対象者をどうするかが今後の課題である。

農家・非農家の若手を中心にした30名の草刈り隊を組織し、「地域住民との交流」、「ふるさと東大淀の地場産業の育成」の2つを目標とした農産物・海産物の産直市の開催したり、小学生の農業体験、EMだんご・EMぼかしづくり等を実施している。

活動開始から目標としていた「ふるさとの環境保全と絆づくり」、「伝統文化の継承」はこの活動を通じ、明るい兆しが見え、これらを未来ある若者に伝えていきたい。

⑤西環境保全会(伊勢市)

50年来放置された排水路の浚渫がこの地域での課題であった。しかし、この活動により、排水がスムーズが流れるようになり地域の方々に喜ばれている。

今後、兼業農家が多いため、出会いの回数を減らすなどを検討し、出来るだけ組合員への負担軽減を図ることが課題となってくる。併せ特定の役員への負担増を解消し、役員間のバランスも検討する必要がある。

活動発表後、休憩をはさみ三重県農業基盤室野村主幹より本年1月15日に開催された「みえのつどい“2010”」の報告と本年11月5日に開催予定の「みえのつどい“2011”」への協力を依頼し、引き続き伊勢農林水産商工環境事務所地域農政課西井主査より「地域活性化プラン」の推進についての説明があり、この活動発表会は盛会に閉会した。



発表を聞き入る参加者

田んぼの生きものの復活プロジェクト支援事業における 農地・水活動組織の取り組みについて

農水商工部 農業基盤室

【はじめに】

今年度より新規事業である「田んぼの生きものの復活プロジェクト支援事業」により、水田地域の生物が水田と水路を自由に行き来できる水田魚道を設置し、地域住民による生物の保全活動をモデル的に実施することにより、水田地域の生物多様性の確保と地域住民の意識向上を図った取り組みを地域住民や学校と連携して実施しております。

【南家城自然向上護る会の取り組み】

白山町南家城地区は、平成22年度に地元農地・水活動組織である「南家城自然向上護る会」と県担当者が、一般土木資材である塩化ビニル製半管コルゲート管を利用し、水田魚道本体を畦畔に埋設した畦畔埋設タイプの水田魚道を設置しました。

今年度は、田んぼの生きものの観察会に先立ち、6月9日、10日に家城小学校の3年生・5年生の生徒に対して、学校の授業の中で水田魚道と田んぼの生きものの事前勉強会を行いました。8月23日には、事前勉強会を行った生徒とその保護者、先生合わせて34名が、田んぼの生きものの観察会を実施し、排水路に住む、沢ガニ、ゲンゴロウ、イモリなど6種類の生きものの合計10匹が確認されました。



生きものを採取する参加者



参加された皆さん

【笠松環境保全協議会の取り組み】

松阪市笠松地区は、8月2日に県立久居農林高校環境土木課土木機械コースの2年生の先生、生徒と、農地・水・環境保全向上対策事業に取り組む「笠松環境保全協議会」の28名が連携し、水田魚道を設置しました。



魚道設置



インタビューを受ける参加者

水田魚道は、高低差約1.5mの水田と排水路を、L字型に結んだ半管コルゲート管を単管パイプで固定しました。単管支柱タイプの水田魚道の材料は、県から支給したセキ板65枚、半管コルゲート管4m、単管足場であり、約3時間で設置が完了しました。

高校生による水田魚道の設置は、各種報道機関にも取り上げられ、CBCラジオでは、「多田しげおの気分爽快!! 朝からP・O・N」において、地権者と高校生2名を交えた現地レポートが生放送されました。

また、9月5日に近隣の市立鵜小学校と「笠松環境保全協議会」が連携して、水田魚道の観察会を実施しました。学校の先生・生徒合わせて19名が参加し、タモロコ、コイ、フナ、ドジョウなど12種類の生きものの合計38匹が確認されました。

【今後の水田魚道の設置予定について】

今年度はあと3箇所魚道の設置を予定しております。魚道本体は、県から材料を支給させて頂き、設置は地元の方が中心となって、県のサポートのもと設置して頂きます。

設置は約10名の半日程度で比較的簡単に設置できますので、ご興味のある農地・水活動組織の方や土地改良区の方がみえましたら、ご連絡をお願いします。



観察する子どもたち

みえのつどい 2011 開催案内

平成23年1月15日三重県総合文化センターにおいて「農地・水・環境保全向上対策みえのつどい 2010」を開催しました。

本年も農地・水・環境保全向上対策の各活動組織相互の情報交換や意見交換を行い、各活動組織が農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図る活動を、より一層活発に取り組んでいただくことを目的とした「みえのつどい“2011”」を開催いたします。

このイベントは、農地・水・環境保全向上対策を実施している活動組織のみならず、農村集落に居住されている方、地域活動を行っている方、若手農業者、環境に関心のある親子など、いろいろな方に参加していただける企画としています。

今回は、前回好評だった座談交流会による参加者の活動意見交換、次世代への継承についての基調講演、三重テレビ制作番組「欽ちゃん（萩本欽一さん）のニッポン元気化計画」上映（ビデオメッセージ）、環境アニメ紙芝居「メダカのコタロー劇団」公演やミニイベントも盛り込んでいます。5年目の区切りとなるイベントとして、これまで以上に十分満足して



農村トークセッション



メダカのコタロー劇団

いただけるように企画しており、地域のみなさんの参加をお待ちしております。

なお、参加を希望される方は、「水土里ネットみえ」まで、ご連絡をお願いいたします。



座談交流会

農地・水・環境保全向上対策 みえのつどい2011

日 時／平成 23 年 11 月 5 日（土）

参加費／無料（昼食代除く）

場 所／三重県総合文化センター 大ホール、ギャラリー

第 1 部 10:00 ～ 12:00 座談交流会

第 2 部 12:30 ～ 16:00
開会セレモニー
基調講演
欽ちゃんの農村元気化計画上映
農村元気化計画トーク

同時
公演 13:30 ～ 16:00 メダカのコタローワンダーランド

基調講演者 プロフィール

宮治勇輔氏（33 才）

○株式会社みやじ豚 代表取締役社長

○NPO法人農家のこせがれネットワーク

代表理事 CEO

家業であった養豚場を 2006 年に株式会社みやじ豚として設立し代表取締役に就任。兄弟の二人三脚と独自のマーケティングにより 2 年で神奈川県トップブランドに押し上げる。みやじ豚は 2008 年農林水産大臣賞受賞。一次産業をきっかけで・感動があって・稼げる 3K 産業にするため、新しい農業標準作りに挑戦し、六本木に農家のためのレストラン「六本木農園」をオープンした。